

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社

代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

木枯らしが吹きすさぶころとなりましたが、

皆様はいかがお過ごしでしょうか。コロナウイルスの第3波とのニュースに、どう対処していいのかわからない状況の中戸惑いを隠せないのが本音です。今後も気持ちで負けないようにと感じているこの頃です。忙しい年末ですが身体に気をつけてお過ごしください。

サンライズの物語

魔法があったなら――

気持ちに寄り添う難しさを考える物語



その方は、自分の母親を自宅で看取った経験のある方でした。今度は自分のご主人が体調を崩され、今年の5月に肝硬変と診断され10月には入院となり退院されましたが、自宅で看取ると覚悟を決めていたのでした。

しかし日増しにご主人の身体は浮腫に侵され利尿剤を投与しても引くことが無くなっていったのです。

どうかトイレまでは移動していましたが移動する度に息切れが酷く「苦しい楽になりたい、治るのかな」等の苦しい言葉になんと答えて良いのかわからないと話されていました。

身内を介護する悲しさ、辛さ、治らない人に対して励ます言葉を教えて欲しい。魔法があったら、神様が居るのなら助けて欲しいとの訴えに涙が零れました。

辛いと思いました。そんな利用者や家族の気持ちに添う難しさ・・・

介護職として何ができるのか。考えさせられました。少しでもご家族の気持ちを和らげるような言葉を自分の中で探し続けていました。私にも魔法が使えたら、神様にお願いができれば、と真剣に考えてしまいました。

サンライズのデイサービス陽光だより



3時のおやつに『たいやき』を楽しんでいただきました。しっぽまであんこタップリです。



手縫いでマスク作りに挑戦しました。丁寧に縫っています。



セラバンド体操を使った体操です。心地よいストレッチで気持ちよく身体がのびます。



クリスマスのミニツリーを作りました。楽しく作業できました。

NEWS 今月のニュース

「1日限り」の音楽隊が演奏会 玉野の老人施設で薬剤師ら

音楽は心のお薬。岡山赤十字老人保健施設・玉野マリンホーム（玉野市築港）で24日、薬剤師や介護福祉士でつくる“一日限り”の音楽隊が、演奏会を開いた。新型コロナウイルスの影響で、恒例のレクリエーションが軒並み中止になったホームの利用者を、「元気づけられるように」と選曲。お年寄り約20人が癒やしのひとときを過ごした。

オープニングは、第一線で活躍する人物に密着したテレビ番組「情熱大陸」のテーマ曲。併設の岡山赤十字病院玉野分院薬剤師の女性がバイオリンの優雅な音色を響かせ、利用

者たちがじっと耳を傾けた。

2曲目から、マリンホームの介護福祉士らでつくる“聖歌隊”が、そろいの真っ白な衣装で登場した。バイオリン、コントラバスの美しい調べとともに、NHK連続テレビ小説「エール」の主題歌「星影のエール」を熱唱し、最後は「ふるさと」で利用者も一緒に歌い上げた。

利用者の女性（91）＝玉野市＝は「みんなでふるさとを歌い、懐かしさで胸がいっぱいになった。コロナで何もかもイベントがなくなっていく中、今日は生で音楽を聴くことができてうれしかった」と涙を拭いた。

マリンホームは例年、外部のボランティアや高校生を招き、音楽や手品を楽しむが、コロナで全て取りやめに。分院と施設の職員が、自分たちでできることで喜んでもらおうと準備を進めてきた。廣田さんは「力を合わせてコロナに立ち向かっていこうというエールを送りたかった」と話している。



<山陽新聞
2020年11月25日(水)>

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>